

(様式1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県民会館 文化振興室文化政策課

2 施設所在地
富山市新総曲輪4-18

3 施設設置年度
昭和39 年度

4 設置目的
県民の文化の向上と地域経済の発展に寄与することを目的とする。

5 施設概要

〈本館〉
①建物の構造 鉄筋コンクリート造(地下1階、地上8階、塔屋3階)
②敷地面積 8,413㎡
③建物面積 4,381㎡ 延床面積 17,799㎡
(地下1階3,162㎡、1階3,624㎡、中2階277㎡、2階2,859㎡、3階2,096㎡、4階1,441㎡、
5～8階3,869㎡、塔屋1階154㎡、塔屋2階157㎡、塔屋3階160㎡)
④施設内容 ホール(1,105席)、展示室、会議室、美術館、ギャラリー、練習室、
ロビー
⑤開設 昭和39年8月
〈分館・内山邸〉
①建物の構造木造(地上2階)
②敷地面積 12,404㎡
③建物面積 1,453㎡
〈分館・金岡邸〉
①建物の構造木造(地上2階)
②敷地面積 1,967㎡
③建物面積 806㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

R3	R4	R5	R6	R7
447,817	596,657	479,253	504,262	518,137

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R3	R4	R5	R6	R7
167,317	215,606	207,247	218,422	234,738

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R3	R4	R5	R6	R7
220,366	220,366	221,575	221,575	221,575

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

オーバード・ホール大ホールの改修工事休館によりホールの利用が増加したこと、4年ぶりとなる国立科学博物館の大規模巡回展が開催され美術館の利用が増加したことに伴い、令和7年度の利用料金収入、利用者数は、ともに令和6年度に比べ増加した。

(2) サービス向上に向けた取組み

・令和7年3月に導入された富山県公共施設予約システムにより、インターネットから施設の空き状況の確認や会議室等の予約、オンライン決済が可能であることを積極的かつ効果的に周知し、スムーズな利用手続きに努めている。また、平成29年度から大会議室から順次中規模会議室にも天井吊下固定式のスクリーンを設置するとともに、プロジェクター更新などを進めて利用者の利便性向上を図っている。

・平成27年度に設置した正面入口の電子看板(デジタルサイネージ)や県内各施設の情報チラシや観光案内パンフ(1階ロビー内)を配置し、県の文化・観光情報の発信拠点として、魅力的で親しみの持てる施設環境づくりに取り組んでいる。

・分館においては、平成27年度より施設の特徴を県内外に発信し、休館日の団体利用申込については、臨時開館で対応している。

・利用料金やチケット代金の支払方法として、現金、銀行振込のほか、平成26年度からクレジットカード、平成29年度から電子マネー、令和2年度から二次元コード決済を導入し利便性の向上を図っている。

・平成30年度から独自のチケット販売システム「アーツナビ」において、インターネットクレジット決済及びコンビニエンスストアでの支払・発券サービスを提供している。

・令和3年度にホール棟休館中に測量作業を実施し、近年ホール利用者から要望の多い、ホール舞台の平面図及び断面図のデジタルデータを作成し提供している。

・大型イベント開催日には、混雑する駐車料金精算機前の安全誘導を行い、混雑緩和に努めている。

・利用者からwi-fi設備についての問合せが多いため、会議室全扉に「TOYAMA Free Wi-Fi」のロゴマークを設置している。

・令和6年度から希望するお客様に対し、会議室の鍵の貸し出しを開始し、利用者の利便性向上を図っている。

・天候を気にせず高齢者や子供も安全に桜を鑑賞できるよう令和6年度からギャラリーBを無料開放した。

・美術館前で開会式を実施する利用者のため、ロビー天井にライティングレールを増設した。

・富山電気ビルレストラン県民会館店と連携し、主催事業限定メニューを提供した。

・富山県美術展、越中アートフェスタの実行委員会として参画し、県庁構内駐車場の通行などによる作品搬入出時の渋滞緩和に努めた。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・令和2年度に県が整備した有線LANによる高速通信が可能な情報コンセント、デジタル映像配信設備、赤外線マイクシステムをホームページ等で広報し、インターネット環境の提供、LANケーブルの貸出を無料で行うことで利用促進を図るとともに、WEB会議、ライブ配信などの新しい利用方法を提案し、初めて利用される方の中で、事前レクチャーを希望される場合は20分程度のデモンストレーションを行っている。

・平成18年度から導入している会館独自の利用料金の割引プランや、ワンストップサービス(看板や花の手配等)の、より一層の周知を図っている。

・分館では、令和2年度に県内有数の内山邸の梅園に解説二次元コード付き「樹木名板」を設置して、庭園の魅力を季節ごとに発信し、利用促進を図っている。

・利用が伸び悩む展示室、美術館、ギャラリーの最新の「空き状況」をホームページのトップページに掲載し、利用促進を図っている。

・令和6年度に県民会館の外国人向け英語版パンフレットを作成し、利用促進を図っている。

・分館金岡邸の薬研体験コーナーの案内看板を新設し、利用者の増加に努めた。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年、実施方法：利用者にアンケート用紙を配布
回答者数	135人
結果	職員対応：満足 69.7% 施設状況：満足 80.4%
結果を踏まえた改善事項	無

② その他利用者の声を反映させる取組み

各階に利用者アンケートボックスを設置するとともに、ホームページにご意見箱を設けている。

③ 主な苦情と対応

駐車場が少ないという声が多く寄せられるため、県営中央駐車場との提携、近隣駐車場の利用、公共交通機関の利用をホームページのトップ画面で案内している。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報を管理する責任者が決められ、管理も適切にされている。

(6) 関係団体との連携

富山県公立文化施設協議会事務局として県内公立文化ホール間の連絡調整などの中心的な役割を担っている。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・年2回の自衛消防隊による消防訓練を実施し、令和5年度には地震発生による火災を想定した訓練を行った。平成30年度に策定した危機管理マニュアル「不審者対応用」をもとに、更なる安全管理の徹底を行った。

・構内駐車場の満車に伴う周辺道路の混雑対策として、仮設案内板の掲示や誘導員の増員など、その緩和に向けた取り組みを強化した。

・ホールの舞台機構・照明・音響設備や館内各種設備について、日常から職員が自主点検を行うとともに、定期的に専門業者による保守点検を実施した。

・県で行ったエスカレーター修繕工事や一般照明LED化工事において、工程や夜間作業の調整など、来館者の安全管理の徹底に協力した。

・水害時の指定緊急避難所として富山市の「まるごとまちごとハザードマップ」の取り組みに協力した。

・指定管理者において作成した熱中症への対応フローを職員に周知するなど、熱中症対策の強化を図った。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
③個人情報に関するトラブルの有無
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	4
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・利用者サービスの維持向上を図りながら、県や民間が誘致するコンベンション活動等と連携し、令和2年度に整備されたWEB配信や会議用マイクシステムの活用、令和6年度に導入された富山県公共施設予約システムの周知など、施設の使いやすさを広くアピールし、施設の利用促進に努めてほしい。

・安全・安心な施設管理、すべての利用者の立場に立ったより快適なサービスの提供、公平かつ親切で迅速な利用者対応を徹底し、顧客満足度の一層の向上を図ること。